

第19回



中之島映像劇場
NAKANOSHIMA SCREEN

野田真吉の暁



《まだ見ぬ街》



《くずれる沼 あるいは 画家・山下菊二》



《生者と死者のかよい路 ―新野の盆おどり・神送りの行事―》



《冬の夜の神々の宴 ―遠山の霜月祭―》

2020
3.14 - 15
| 土 | | 日 |

国立国際美術館・地下1階講堂
大阪市北区中之島 4-2-55

参加無料 全席自由、先着130名

各プログラム入れ替え制
各日10:00から当日の各プログラムの整理券を配布
(1名様につき1枚)

3/14 (土)

11:00 - A 《農村住宅改善》《忘れられた土地 ―生活の記録シリーズII―》
《鑄物の技術 ―キューボラ溶解―》《マリン・スノー ―石油の起源―》

13:45 - B 《まだ見ぬ街》《ふたりの長距離ランナーの孤独》
《くずれる沼 あるいは 画家・山下菊二》
上映作品追加予定

3/15 (日)

12:30 - C 《冬の夜の神々の宴 ―遠山の霜月祭―》《ゆきははなである ―新野の雪まつり―》
《生者と死者のかよい路 ―新野の盆おどり・神送りの行事―》

野田真吉の暁

Shinkichi Noda Retrospective

第19回中之島映像劇場では、ドキュメンタリー映画作家であり、詩人でもある野田真吉(1916-1993)による映画作品の回顧上映を実施いたします。

野田は、戦前から東宝映画の文化映画部で演出を手掛け、戦後の東宝争議以降は、フリーで映画やテレビによるドキュメンタリーにたずさわりながら、「記録映画作家協会」や「映像芸術の会」など、数多くの創造運動に参加しました。1970年代以降は、映像による民俗学の確立に向けて奔走し、自主製作によって「民俗神事芸能三部作」などを発表していきます。

本上映会では、PR映画の代表作から自主製作された記録映画や実験作品、民俗学映画までを辿り、野田真吉の多岐にわたる活動を再浮上させます。

国立国際美術館では、本上映会時に次の展覧会を開催中です。
会期:2020年1月7日(火)ー3月15日(日)
「インボナシブル・アーキテクチャーー建築家たちの夢」
「コレクションー現代日本の美意識」

同期間に、国立映画アーカイブによる出張展示「映画ポスターにみるロシア・アヴァンギャルド NFAJ所蔵《袋一平コレクション》より」を開催しています。ソヴィエト連邦初期に作られた映画ポスターの複製品10点をご覧ください。(地下1階パブリックスペースにて、観覧無料)



[アクセス]京阪電車で中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分/Osaka Metro四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分/JR「大阪駅」、阪急電車「梅田駅」から南西へ徒歩約20分/JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口)から南へ徒歩約10分/阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分/Osaka Metro御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口)から西へ徒歩約15分/大阪シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約3分

当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。心身に障がいのある方で、車で来館される場合は、当館近隣の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ
TEL: 06-6447-4680(代) http://www.nmao.go.jp/
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-2-55
4-2-55 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005

国立国際美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA



主催:国立国際美術館、国立映画アーカイブ
特別協賛:木下グループ 協賛:ダイキン工業現代美術振興財団

3月14日(土)



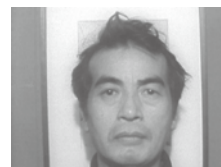
《鑄物の技術ーキュボラ熔解ー》



《マリン・スノーー石油の起源ー》



《まだ見ぬ街》



《くずれる沼あるいは画家・山下菊二》

11:00・A program [終了予定12:45]

冒頭、当館客員研究員より企画の解説を行います。

《農村住宅改善》(16mm/20分/1941年/国立映画アーカイブ蔵) 戦後公開版

製作:東宝映画文化映画部 [戦後公開版] 提供:教材映画製作協同組合
監督:野田真吉 [戦後公開版] 監修:竹内芳太郎 撮影:福田三郎 編集:山田耕造 音楽:服部良一
東北地方の農村住宅を調査・記録し、非効率な状態にある家事・労働の改善がはかられる。「考現学」の創始者として知られる今和次郎が指導。

《忘れられた土地ー生活の記録シリーズIIー》(16mm/30分/1958年/プラネット映画資料図書館蔵)

製作:東京フィルム 脚本・演出:野田真吉 撮影:高橋佑次 音楽:間宮芳生 解説:高島陽 録音:大橋鉄矢
青森県下北半島の尻労集落で貧しさとたたかひながら生きる人々を撮った教育映画。同地域の周辺にはその後、巨大な石油備蓄基地や核燃料再処理施設などが建設される。

《鑄物の技術ーキュボラ熔解ー》(35mm/18分/1954年) ※デジタル上映

製作:東京シネマ 製作者:岡田桑三 脚本:吉見泰 演出:野田真吉 撮影:入沢五郎
動画原画:村山知義 アニメーション:日本漫画映画
鑄物づくりの技術者向けに「キュボラ熔解法」を紹介するカラーフィルム作品。動画原画を村山知義が担当している。

《マリン・スノーー石油の起源ー》(16mm/25分/1960年) ※デジタル上映

企画:丸善石油 製作:東京シネマ 製作者:岡田桑三 演出:野田真吉・大沼鉄郎
撮影:小林米作 脚本:吉見泰 音楽:間宮芳生
丸善石油のPR映画。海中に群生するプランクトンの死骸が、海の雪となり海底に降り積もるミクロな世界から、長い年月を経て原油に変化していく壮大なシネ・ポエム。

13:45・B program

《まだ見ぬ街》(16mm/12分/1963年/国立映画アーカイブ蔵)

制作・演出・脚本:野田真吉 撮影:因幡元光・上村竜一 演出助手:光井義明 編集:岩佐寿枝 音楽:一柳慧
長崎にある造船所のPR映画を製作している合間に、野田が港や下町、被爆した教会などを歩き回り、その生活風景を16mmフィルムで撮影し、詩を添えた。

《ふたりの長距離ランナーの孤独》(16mm/9分/1966年/国立映画アーカイブ蔵)

制作・演出:野田真吉 撮影:因幡元光・大須賀武 タイトル:長谷川元吉
野田が松本俊夫と共同で演出した《オリンピックを運ぶ》の撮影中に、偶然カメラが捉えたマラソン競技中のハプニングを反復する実験的作品。

《くずれる沼あるいは画家・山下菊二》(16mm/38分/1977年) ※デジタル上映

監督・製作・編集:野田真吉 録音・音楽:長谷川元吉 撮影:亘真幸・長谷川元吉 録音:本間喜美雄・井上洋右 出演:山下菊二 タイトル:城所昌夫
《あけぼの村物語》などで知られる画家・山下菊二の展覧会、そのアトリエ、フクロウたちと彼らが暮らす生活空間などを記録し、山下の独白が重ねられる。

[上映作品追加予定]

3月15日(日)

12:30・C program [途中休憩あり 終了予定16:30]

冒頭、当館客員研究員より企画の解説を行います。

《冬の夜の神々の宴ー遠山の霜月祭ー》(16mm/37分/1970年/国立映画アーカイブ蔵)

制作・監督・編集:野田真吉 撮影:長谷川元吉 撮影助手:亘真幸 録音:野田純
製作協力:大野耕司・松川八洲雄・岩佐寿枝・北村皆雄・一杉陽子・長野県下伊那郡上村下栗
長野県下伊那郡上村下栗部落に伝承されてきた「霜月まつり」の記録。釜から立ちのぼる湯けむりのなか、仮面をつけた神々と死霊が舞う。

《ゆきははなであるー新野の雪まつりー》(16mm/129分/1980年/国立映画アーカイブ蔵)

制作・演出・編集:野田真吉 撮影:亘真幸 音響:井上洋右 制作協力:大野耕司・大塚正之・小川克己・岩佐寿枝・亘知也 ナレーター:高島陽 タイトル:城所昌夫
長野県下伊那郡阿南町新野で古くから行われてきた「雪まつり」。74年から野田たちが通い続け、撮影した民俗学映画の傑作であり、かつて折口信夫も注目した能や田楽が記録されている。

《生者と死者のかよい路ー新野の盆おどり・神送りの行事ー》(16mm/36分/1991年/国立映画アーカイブ蔵)

製作・監督・構成:野田真吉 撮影:亘真幸・大塚正之・岩崎充利・小川克己 録音:井上洋右
現地録音:菊地進平・大塚正之 製作協力:オフィスMAP 協力:新野高原踊りの会
野田の最晩年の作品。夏の三日間、新野の街全体で行われる鳴り物のない盆踊りによって、祖先の霊が空へ送られる。



《冬の夜の神々の宴ー遠山の霜月祭ー》



《ゆきははなであるー新野の雪まつりー》



《生者と死者のかよい路ー新野の盆おどり・神送りの行事ー》



《生者と死者のかよい路ー新野の盆おどり・神送りの行事ー》